

平成28年度

事業計画書

平成28年 4月 1日から
平成29年 3月31日まで

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

目 次

(平成28年度事業計画書)

I. 平成28年度公益財団法人米沢上杉文化振興財団の目標及び方針	・・・	1ページ
II. 公益目的事業		
(1) 展示事業	・・・	3ページ
(2) 教育・普及事業	・・・	7ページ
(3) 資料収集・調査・整理・保管事業	・・・	11ページ
(4) 芸術文化活動の支援・鑑賞事業	・・・	13ページ
(5) 芸術文化活動のための施設貸与事業	・・・	15ページ
(6) 伝国の杜サポーター運営事業	・・・	15ページ
III. 収益等事業1		
ミュージアムショップ事業	・・・	16ページ
IV. 収益等事業2		
施設貸与事業	・・・	16ページ
V. 収益等事業3		
伝国の杜ファンクラブ事業	・・・	17ページ
VI. 管理部門		
管理部門	・・・	17ページ

平成 28 年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団の目標及び方針

- 基本理念** 市民と協働し、地域文化の創造・振興拠点をめざす
- 目 標** 郷土愛を育み、教育、学術及び文化を振興し、広域交流を促進する

運営方針

- (1) 心豊かな潤いのある地域社会の創造に寄与する
貴重な地域資源を活かして市民の教育、学術及び文化の振興を図り、心豊かな潤いのある地域社会の創造に寄与するとともに、利用者の期待と要望に応える運営に努め、魅力ある文化交流拠点をめざす。
- (2) (1)を実現するために次の諸事業を推進する
 - ① 必要な図書、記録、資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業
 - ② 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業
 - ③ 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業
 - ④ 歴史・芸術・文化活動拠点の運営等に関する事業
- (3) 指定管理者として適正な運営に努める
米沢市上杉博物館と座の文化伝承館の指定管理者及び置賜文化ホールの運營業務補助者として、また、図書館、市民ギャラリー及びまちなか駐車場の指定管理者として、主管課と連携を密にし、関係法令と基本協定書等を遵守して適正な運営に努める。

事業活動方針

- (1) 必要な図書、記録、資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業
 - ・ 上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の収集と調査研究を体系的に進める。
 - ・ 地域の人々が郷土に誇りと愛着をもち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示をめざす。
 - ・ 収集した図書や資料等を広く利用に供し、相談に応じ、要望と期待に応える。
 - ・ 資料情報管理の一元化とアーカイブ化を進め、情報の発信と提供に努める。
- (2) 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業
 - ・ 市内外の図書館や教育、研究施設と連携し、知のネットワークの構築を進める。
 - ・ 家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する。
 - ・ 日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する。
 - ・ 生涯学習施設また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する。
 - ・ 市民の経験や知識及びボランティアと協働し、各施設のサービスの充実に努める。
- (3) 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業
 - ・ 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会を提供し、芸術・文化活動の創造気運を高める。
 - ・ 充実した展示機能で新たな芸術活動にも対応し、市民の活動成果を広く公開する。
 - ・ 活動を楽しみ交流する場を提供し、次世代を担う子どもや若手芸術家を育成する。
 - ・ 能舞台を活用して、伝統芸能の継承・普及につながるプログラムを展開する。

(4) 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業

- ・ 上杉家・米沢藩及び郷土作家研究の拠点として、広く開かれた施設をめざす。
- ・ 市民の伝統文化活動を支援するとともに、歴史・芸術・文化の情報発信に努める。
- ・ 利用者の声を集め反映する仕組みを整え、市民に開かれた運営をめざす。
- ・ まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する。

(5) 財団の適正な運営に関する事業

- ・ 「公共施設」を念頭に、経営基盤の安定と利用者増及び収入の確保に努める。
- ・ 各施設個々の機能を十全に発揮するとともに、施設相互の適切な連携に努める。
- ・ 米沢・上杉の歴史と文化を発信し、文化及び観光の交流拠点をめざす。
- ・ 入場者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む。
- ・ 複数の内部評価・外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める。

I 公益目的事業
地域における歴史・芸術文化の振興を図るための事業

1. 展示事業

事業の目的

地域の歴史や文化、芸術への市民の興味・関心を喚起し、郷土愛の醸成と教養を高めるとともに、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示を目指す。

本年度の事業

(1) 米沢市上杉博物館企画展示事業

米沢市上杉博物館企画展示室において年間 6 本の企画展を開催する。さらに、利用者の理解に資するため、会期中に講演会やギャラリートークを実施する。

また、平成 29 年度以降の企画展開催に向けた準備を進める。

①企画展

以下の 6 本の企画展を開催する。

4月16日(土) ～6月19日(日) [開催日数59日間]	開館15周年記念特別展 「米沢中納言 上杉景勝」 (※前後期制 前期：4/16(土)～5/15(日)、後期：5/21(土)～6/19(日))
6月25日(土) ～8月21日(日) [開催日数54日間]	開館15周年記念企画展 「生誕120年 椿貞雄展—椿貞雄と岸田劉生—」 (※前後期制 前期：6/25(土)～7/18(日)、後期：7/23(土)～8/21(日))
8月29日(月) ～9月24日(土) [開催日数27日間]	開館15周年記念企画展 「時間旅行展—TIME! TIME! TIME!」
10月1日(土) ～11月27日(日) [開催日数53日間]	開館15周年記念 特別展「伊達氏と上杉氏」 (※前後期制 前期：10/1(土)～10/30(日)、後期：11/3(木)～11/27(日))
12月10日(土) ～2月12日(日) [開催日数52日間]	開館15周年記念 コレクション展「上杉鷹山と学びの時代」(仮題)
2月18日(土) ～3月26日(日) [開催日数32日間]	開館15周年記念企画展「大正期の米沢の美術」(仮題)

②次年度以降の展覧会の準備に関すること

- ・上杉謙信関連の調査
- ・上杉家古写真調査
- ・上杉家旧蔵資料の調査
- ・武家文書の古文書学的調査
- ・伊達家関連資料調査
- ・上杉家・米沢藩能楽関連調査
- ・洛中洛外図に関する研究
- ・遠藤桑珠展にむけた調査
- ・上杉景勝関連の調査
- ・直江兼統関連の調査
- ・上杉家家臣団関連の調査
- ・上杉家武器・武具関連調査
- ・米沢藩内医師とその交流調査
- ・米沢藩幕末、明治維新时期に関する調査
- ・後藤克芳展にむけた調査
- ・福王寺法林展にむけた調査

(2) 米沢市上杉博物館常設展示事業

米沢市上杉博物館常設展示室における資料や設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進め、より良い展示環境の維持に努める。また、同展示室内の上杉文華館では、「謙信を生んだ一族・長尾氏」を年間テーマに、国宝上杉家文書を読み解いていく展示を13の小テーマで開催する。日程は下記のとおり。

◇上杉文華館スケジュール

①	3月29日(火) ~ 4月26日(火)	「長尾氏、越後へ」
②	4月27日(水) ~ 5月24日(火)	「越後支配の要諦」
③	5月26日(木) ~ 6月21日(火)	「室町幕府の期待」
④	6月23日(木) ~ 7月26日(火)	「守護支配の推進」
⑤	7月28日(木) ~ 8月23日(火)	「謙信祖父能景①」
⑥	8月25日(木) ~ 9月27日(火)	「謙信祖父能景②」
⑦	9月29日(木) ~ 10月25日(火)	「謙信祖父能景③」
⑧	10月27日(木) ~ 11月23日(水祝)	以下小テーマ未定
⑨	11月25日(金) ~ 12月22日(木)	
⑩	12月23日(金祝) ~ 1月22日(日)	
⑪	1月23日(火) ~ 2月20日(日)	
⑫	2月21日(火) ~ 3月20日(月祝)	
⑬	3月22日(水) ~ 4月25日(火)	

(3) 市立米沢図書館展示事業

市立米沢図書館の先人顕彰コーナーにおいて年間6本の展示を開催する。また、利用者の理解に資するため、会期中に講演会を実施する。

その他、郷土資料特集コーナー、郷土資料コーナーの各所においても収蔵資料をもとにした展示を展開する。

◇先人顕彰コーナー展示スケジュール

7月1日（金） ～8月24日（水）	伊東忠太展 ※7月10日（日）に講演会開催
8月26日（金） ～9月21日（水）	城下絵図展 I
9月23日（金） ～11月23日（水）	大沼哲展
11月25日（金） ～1月25日（水）	木彫展 I
1月27日（金） ～2月22日（水）	城下絵図展 II
2月24日（金） ～4月26日（水）	日本画展 I

◇郷土資料特集コーナー展示

7月1日（金） ～8月31日（水）	伊東忠太
9月1日（木） ～10月31日（月）	置賜の写真帳
11月5日（土） ～12月25日（日）	米沢の街道・鉄道
以降もおおむね2ヶ月程度ごとに展示を展開	

◇郷土資料コーナー展示

7月2日（土） ～8月28日（日）	かてもの展示
9月3日（土） ～10月31日（月）	火縄銃関連資料展示
11月5日（土） ～12月25日（日）	先祖由緒帳展示
以降もおおむね2ヶ月程度ごとに展示を展開	

(4) よねざわ市民ギャラリー展示事業

ギャラリーの機能を活かし、市内の芸術文化団体と連携した展示や米沢市上杉博物館の収蔵資料を活用した展示を行う。

◇よねざわ市民ギャラリー展示自主・共催事業スケジュール

7月1日(金) ～7月14日(木)	よねざわアート NOW (前期) (書道、工芸、文学、歴史、華道)
7月16日(土) ～7月31日(日)	よねざわアート NOW (後期) (絵画、彫刻、写真、華道)
8月4日(木) ～8月21日(日)	米沢の美術作家たち～昭和を生きぬいた11人～
3月7日(火) ～3月12日(水)	3階建ての美術館～先輩たちも若手作家を応援します～ (仮題)
通年事業 (年4回程度)	オープンギャラリー展示

(5) 米沢市座の文化伝承館展示事業

米沢市座の文化伝承館の指定管理者として実施する展示事業。蔵の特性を活用した事業を行い、地域の歴史・文化の紹介に努める。

◇米沢市座の文化伝承館展示事業スケジュール

10月19日(水) ～10月31日(月) [開催日数: 13日間]	河童洞コレクション「たのしき郷土玩具の世界Ⅲ」 (仮)
---	-----------------------------

2. 教育普及事業

事業の目的

- (1) 地域の歴史・文化や民俗・風習を理解し、それらを継承していくための様々な場を提供する。
- (2) 地域の美術や工芸、伝統的な手わざの継承や普及のための体験プログラムを提供し、子どもたち個々の個性や各地域の文化を尊重し合う意識を育てる。
- (3) 歴史や美術の充実した体験学習を通して子どもたちの「生きる力」を育むことに寄与する。

本年度の事業

教育事業に幅広い活動の場を設定し、より多くの方に来館してもらえようような内容のものを開催して、学校との連携はもとより、市民還元、市民協働の機会を増やしていく。

(1) 教育事業

①プレイショップの展開（米沢市上杉博物館体験学習室・常設）

季節企画では季節の風物を置賜の民俗風習と絡めながら紹介する。郷土玩具やひな人形の展示も組み込んでいく。造形体験では、さまざまな素材や技法に触れることのできる幅広いプログラムを提供する。

◇月ごとテーマの設定

	季節企画	造形体験プログラム
4月	二十四節気①	フロッタージュであそぼう
5月	端午の節句 ※五月人形展示	
6月	二十四節気②	たのしいスパッタリング&スタンピング
7月	七夕	
8月	盂蘭盆会	すてきなデカルコマニー
9月	重陽の節句	
10月	お月見	型絵染でカードをつくろう
11月	七五三	
12月	デザイナーズチェアをたのしもう	切り絵でつくろう
1月	お正月 ※郷土玩具と干支の展示	
2月	節分	紙ねんどでつくる春の和菓子
3月	桃の節句 ※ひな人形展示	

②ワークショップの開催（米沢市上杉博物館）

五感や身体感覚を使ったプログラム、また、博物館の特徴を活かしたプログラムの開発と展開を行う。

募集制プログラム

◇やってみよう・感じてみよう

“つくる”ことをテーマに参加者の発想をかたちにするワークショップ

10月	羊毛フェルトに挑戦！ きほんのきほん	小学4年生以上
〃	ガラス絵具でつくるステンドグラス	高校生以上
11月	粘土でクリスマスオーナメント	中学生以上

◇夏休み ものづくりルームシーズン6（毎年実施、本年は6年目）

8月	消しゴムほじほじはんこで夏気分Ⅲ	小学5年生以上
〃	ちっちゃなスイーツデコレーション	小中学生
〃	名画にチャレンジ【モネ編】	小中学生
〃	スポイトでにじみ絵あそび	小中学生
〃	切り絵のステンドグラス	小中学生

◇鑑賞の時間 ナイトツアーようこそ夜の博物館へ

夜の博物館でゆっくり作品を鑑賞できるワークショップ。

5月	洛中洛外図をたのしむ	どなたでも
7月	椿貞雄と岸田劉生	どなたでも

◇体感ミュージアム

博物館の裏側を知ってもらい、その存在価値を理解してもらうワークショップ。

通年	きみもチルドレンキュレーターズ 学芸員になろうXⅡ （全11回程度の連続事業）	小学4年生～ 大学生
----	--	---------------

◇アウトリーチ

学童保育やPTA親子事業への出前ワークショップの展開

自由参加制プログラム

7月、9月、10月	むかしむかしを聞こう（全3回） 語り：米沢とんとむかしの会（伝国の杜サポーター）
-----------	---

③市立米沢図書館の教育事業

市立米沢図書館の蔵書を活用した事業や、児童等の読書活動の推進に関する事業等を展開する。また、収蔵する郷土資料を活用した講座等を展開する。

7月	最初の読み聞かせ会
〃	夏休みこども図書館（てづくりのへや）
10月	古典文学講座（3回開催）
10月～11月	こどもふるさと歴史講座（2回）
10月	アタゴオルによる絵本読み聞かせ（4回）
11月	ふるさと歴史講座（3回）
10月27日（木） ～11月9日（水）	読書週間図書館フェア
11月～	ブックスタート（毎月1～2回）

12月14日(水) ～12月18日(日)	平成28年度 米沢市小中学生読書感想画展
2月	古文書解読講座(2回)
通年	おはなしのへや

④講演会の開催

米沢市上杉博物館、市立米沢図書館の展示等事業にあわせた講演会をその会期中に開催する。
また、図書館におけるボランティア活動に関する講演会を開催する。

◇講演会 5回程度(博物館3回、図書館2回)

⑤地域・学校との連携

ミュージアムスクールや出前授業等博物館を活用した学習機会の提供と支援、学校図書館との連携を行う。また、チャレンジウィークやインターンシップ等の受け入れを行う。
近隣の交流館と連携した事業の展開についても検討する。

⑥展示解説

米沢市上杉博物館企画展等にあわせてその会期中に開催する。

◇ギャラリートーク (年間10回以上実施)

◇コレクショントーク (年間12回程度実施)

⑦米沢市上杉博物館情報ライブラリーの展開と更新

図書やデジタルコンテンツを配置・拡充して利用者にとともに、展示や館の活動に関する質問対応、地域学習の素材や方法論の提供などの参考業務を行う。

⑧特別利用・掲載利用・資料貸与

条例等の基準に照らし適正に許諾・貸出業務を行う。

⑨レファレンス

館蔵資料、展覧会関連資料、米沢の美術などにかかわる質問に対応し、米沢文化の普及を図る。

⑩自動車文庫アタゴオル号の巡回

自動車文庫「アタゴオル号」を使用し、市内の公共施設、教育施設、福祉施設等を巡回し広く市民へ図書館のサービスを提供する。

⑪市民茶会の開催

米沢市座の文化伝承館で実施する事業。日本の伝統文化のひとつである茶道に気軽に親しむことのできる機会として、米沢市茶道連合会の協力のもと茶会を開催する。

6月19日(日)	第26回 市民茶会
----------	-----------

(2) 普及事業

①出版

米沢市上杉博物館年報（平成27年度版）と伝国の杜だより（年間2回）を発行し、施設の事業活動を協力者や市民に対して紹介する。

②事業告知活動

チラシ、ポスター等のほか、広告媒体やWEB媒体を活用した広報活動を行い、事業活動のPRと利用者数の増加を目指す。

また、催事の情報のほかに図書館の新刊案内等を広報よねざわへ掲載し、市民に事業を広く周知する。

③評価の実施と分析

内部・外部評価や来館者アンケートを実施し、その結果を分析・反映することで事業やサービスの改善を図る。

④スタッフの育成

新規採用者研修や、定期的な勉強会や研修会を実施し、対応するスタッフとしての資質向上を目指す。

3. 資料収集・調査・整理・保管業務

本業務の目的

上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の調査研究・収集を体系的に進める。また、情報管理の一元化とデジタル・アーカイブ化を進め、情報の提供に努める。

(1) 資料調査事業

上杉家および米沢藩、また置賜・米沢ゆかりの歴史・美術資料についての追跡・発掘の調査を重点的に進める。

(2) 資料収集事業

収集業務の円滑な実施により調査・研究、展示、教育普及、他館との交流等博物館の活動の枠を広げ、様々な形で市民や来館者に還元する。米沢市の資料収集基本方針に基づき館蔵資料の充実をはかる。

(3) 資料整理・保管事業

現在まで遺された資料を良好な状態で長期間保存し次世代へ継承していく。1点ごとの資料データを集積し、調査研究、展示、教育普及などに役立てるとともに一般にも公開する。

本年度の事業

(1) 資料調査事業

①歴史関連資料

寄託資料の概要調査、収集資料の目録作成と米沢藩および上杉家ゆかりの資料の追跡・発掘調査を充実させる。

調査研究の推進にあたっては、市民、地域の博物館、教育機関、大学、研究機関等との連携、交流をはかりながら、情報の集積や人的ネットワークを構築することに努める。

◇古文書等歴史資料整理員

和田 節子 氏（元米沢市史編さん専門員）

◇資料解読調査員

佐藤美保子 氏（元米沢古文書研究会副会長）

◇資料調査員

小野 榮 氏（郷土史家）

小林 文雄 氏（山形県立米沢女子短期大学教授）

布施 賢治 氏（山形県立米沢女子短期大学准教授）

i) 展示予定資料の解読

ii) 上杉邦憲氏寄託資料概要調査

iii) 資料収集に関わる新資料の調査

iv) 米沢藩および上杉家ゆかりの資料、追跡・発掘調査

v) 受入資料調査の充実

②美術関連資料

本年度以降に開催を計画している展覧会の出展予定資料および郷土出身作家に関する調査を行う。また、調査員を委嘱し、調査の幅を広げ、より多くの情報を収集し集積する。

調査員には米沢出身の近現代作家の作品、所在などを中心に、一次資料の他二次資料の収集も依頼し、現在活躍中の郷土出身作家についても情報を収集する。

◇資料調査員

佐藤 繁 氏（米沢市立松川小学校教頭）
月本 寿彦 氏（茅ヶ崎市美術館学芸員）
村山 鎮雄 氏（美術研究家）

- i) 郷土作家に関する調査
- ii) 現存作家に関する情報収集
- iii) 上杉本洛中洛外図屏風に関する情報の収集と整理
- iv) 作品収集のための調査

③郷土資料

郷土資料（神社・堂宮等）の調査を行う。また、調査に関する報告書を刊行する。

(2) 資料収集事業

収集対象となる資料の購入および寄贈、寄託等について、米沢市と協議の上対応する。

米沢市の収集に関する予算も少なくなっているため、良質な資料の選定に努める。また、米沢藩、上杉家関連資料の他地域への流失が少なくないことから、調査業務の重要性を重視し、これを本業務にも反映させる。

(3) 資料整理・保管事業

IPM（総合有害生物管理）活動を定着させ、収蔵・展示環境の向上を継続的に行う。また、整理の完了した収蔵品の情報をリスト化し、ホームページ上で段階的に公開する。

年間の主な作業

◇資料管理データベースに関する作業

- ・新規受入資料の登録（資料、図書、写真）
- ・新規受入資料のデジタル化（資料、写真）

◇館蔵資料の解説

◇館蔵資料の写真撮影

- ・展覧会と連動した未撮影資料の撮影

◇未受入資料の受入作業（クリーニング・登録・ラベリング・収納）

- ・清水大典資料の整理（継続）
- ・浜田浜雄関連資料の整理（継続）
- ・展覧会と連動した資料調査
- ・井形朝良氏寄贈資料の整理

◇新規寄贈・寄託資料の調査・受入（継続）

◇館蔵資料の修理

- ・受入資料の修理

◇資料の燻蒸、収蔵スペースのクリーニング、IPM と環境管理

◇収蔵資料の情報公開作業

4. 芸術文化活動の支援・鑑賞事業

事業の目的

多岐分野にわたる、質の高い鑑賞機会を提供するとともに、アマチュア活動の支援を通じた地域の芸術・文化の振興に寄与する。また、能舞台を活用し能楽など伝統文化の普及を図る。

本年度の事業

(1) 置賜文化ホール米沢市共催事業（米沢市からの負担金により実施する事業）

良質で低廉な有料公演を開催するとともに、市民の文化活動を支援し、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する事業を米沢市から負担金を受けて置賜文化ホールにて展開する。

◇主な事業予定

4月23日（土）	山形交響楽団ユアタウンコンサート米沢公演
6月25日（土）	Musical Songs Medley
7月23日（土）	東彩子ヴァイオリン・コンサート
9月 8日（木）	能舞台移動 一般公開
10月 2日（日）	吹奏楽の日コンサート2016
11月15日（火）	カナディアン・ブラス
通年事業	よねざわ市民ミュージカル育成事業 (平成29年 新作公演に向けた台本制作及びレッスン)

(2) 置賜文化ホール山形県補助事業（山形県からの補助金により実施する事業）

置賜地域の文化拠点施設として、アマチュア活動団体等に活躍・研鑽の場を提供することにより、地域の文化向上とホールの賑わい創出を図る。また、移動式能舞台を活かしてアマチュア団体や住民が能楽に触れる機会を提供し、伝統芸能の普及を行う。

①地域文化力育成事業

◇主な事業予定

5月26日（木）他	Jazz Café Live（2回）
3月開催予定	親子でたのしむ音楽会

②能楽関係事業

◇主な事業予定

9月11日（日）	平成28年度山形県能楽の祭典
11月1日（火）	能楽お囃子コンサート（仮称）

通年事業	伝国の杜こども狂言クラブの運営 ・稽古 計15回以上 ・発表 計5回以上 上杉まつり「さくらに舞う会」 山形県能楽の祭典 置賜こども芸術祭 上杉雪灯籠まつり「雪に舞う集い」 伝国の杜こども狂言クラブ春休み発表会
------	--

(3) 米沢市市民文化会館米沢市共催事業（米沢市からの負担金により実施する事業）

芸術、文化、レクリエーションに触れる機会を提供し、その普及振興を図り、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する市民文化会館の機能をいかした公演を米沢市から負担金を受けて展開する。

◇主な事業予定

7月27日（水）	米沢市市民文化会館にぎわいづくり支援事業 DRUM TAO 舞響～Bukyo～踊る○(WA)太鼓
11月	演劇公演
3月	コンサート

(4) 米沢市座の文化伝承館自主事業

米沢市座の文化伝承館の指定管理者として実施する無料公演事業。蔵の特性を活用した事業を開催する。

◇事業予定

9月18日（日）	座ってたのしむ小さなステージ vol.10 「二胡を楽しむ」
----------	--------------------------------

5. 芸術文化活動のための施設貸与事業

事業の目的

(1) 米沢市座の文化伝承館

市民が自主的に伝統的な文化活動を推進しその伝承を図ることを目的に、和室の機能を生かして「座って行う日本文化」の一つの活動拠点として米沢市座の文化伝承館の施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与する。

(2) よねざわ市民ギャラリー

さまざまな分野の作品に合わせた展示が可能である施設の機能を生かして、市民の多様な芸術文化活動の成果の発表の場として、また、活気あふれる市民の芸術文化活動の拠点としてよねざわ市民ギャラリーの施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与する。

本年度の事業

施設を貸出基準に照らし、公益性を保ちながら適正に貸与する。また、施設の利用の促進が地域文化の底上げにつながることから、施設情報のPRに努める。

よねざわ市民ギャラリー管理事業は本年度が実施初年度となるため、米沢市や関係団体と密に連携して適正かつ円滑な管理運営に努める。

6. サポーター運営事業

事業の目的

市民の活力を取り込んだ活発な事業運営を目指し、一般市民がそれぞれの興味・関心・得意分野を活かして当財団事業に参加することができるようボランティア活動の場を提供する。なお、ボランティア活動を行う市民は「サポーター」と呼び、伝国の杜を活動の場とするサポーターを「伝国の杜サポーター」、図書館を活動の場とするサポーターを「図書館サポーター」とし、それぞれの施設の事業についての結びつきをより強めようとするものである。

また、サポーターの活動を通して、サポーターと職員が協働し相互に成長することをねらう。

本年度の事業

伝国の杜サポーターは米沢市上杉博物館、置賜文化ホールの諸事業における事業補助、情報発信、来館者へのおもてなしサービス等、図書館サポーターは書架整理、図書修理、イベント補助等の活動を行う。

また、下記を行い、活動の充実と登録者数の増加を図る。

- ・館内研修
- ・洛中洛外図案内人の養成
- ・サポーター通信の発行等職員との連携強化
- ・たよりやホームページ等を活用した外部への広報発信強化

Ⅱ 収益等事業1 ミュージアムショップ事業

事業の目的

財団運営および事業展開の安定化の財源とするため、また利用者サービスの充実のため、米沢市上杉博物館のミュージアムショップ及びWebショップにおいて、展覧会図録をはじめ自主製作商品や受託商品の物品販売を行う。

本年度の事業

- ・展覧会によって特集を組むなど運営を工夫する。また、開催中展覧会の図録は元より、終了している展覧会の図録も合わせて紹介し、販売促進とともに利用者の利便性向上を図る。
- ・来館者のニーズを把握し、地元企業などとの連携を図りながら新規商品を開発する。
- ・より広範囲での商品販売のためWebショップ展開を継続する。
- ・Web媒体や広告・情報媒体を活用し、商品のPRを行う。
- ・連携する展覧会に合わせて、委託商品を充実させ販売促進を図る。

Ⅲ 収益等事業2 施設貸与事業

事業の目的

米沢市から指定管理者として受託する米沢市上杉博物館会議室および米沢市まちなか駐車場の貸出業務を行う。

本年度の事業

施設を貸出基準に照らし適正に貸与する。

米沢市まちなか駐車場管理事業は本年度が実施初年度となるため、米沢市や関係団体と密に連携して適正かつ円滑な管理運営に努める。

また、利用者のニーズを把握し、設置者である米沢市と連携して利用促進に努める。

IV 収益等事業3 伝国の杜ファンクラブ事業

本事業の目的

ファンクラブ会員を募集し、会員特典を設けることにより市民の財団事業への参加・利用の促進を図り、市民の文化活動と発展に寄与する。

本年度の事業

- ・会報及び財団自主事業情報の送付
- ・米沢市上杉博物館常設展示室・企画展示室への入館特典の付与
- ・置賜文化ホール主催事業の先行予約・割引販売（一部公演除く）
- ・ミュージアムショップにて展覧会図録・オリジナル商品の10%割引販売
- ・募集制ワークショップへの無料参加（会員1名につき1回。一部プログラム除く）
- ・ファンクラブ会員限定事業の開催

昨年度の会員数が設立後初めて300人に達した。今年度も会員の定着をめざし、継続してPRと特典の見直し等を行っていく。

V 管理部門

- ◇ 関係法令及び諸規程、契約・協定を遵守し適正な管理を行う。
- ◇ 市立米沢図書館等の管理運営初年度となるため、関係機関との連携の強化や情報交換を積極的に行い、十分な市民サービスを提供できるように努める。
- ◇ 公益性を高めるため、利用者や事業の参加者数の確保とともに、財団経営基盤の安定化のため、収入の確保に努める。
- ◇ 米沢市上杉博物館と置賜文化ホールで実施する事業等の適切な運営を図るため、伝国の杜運営協議会を年2回開催する。また、市立米沢図書館等においても同様の機関を設置し、年2回の会議を開催する。
- ◇ 職員の資質向上のため、内部研修を実施するほか外部研修等へ積極的に派遣する。
- ◇ 災害はじめ様々な危機への備えとして、設備の保全や職員の対応力向上に努める。
- ◇ 複数の内部・外部評価に取り組み、法人や事業の運営とサービスの改善に努める。